

には、リンクがあります。は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

外部評価の結果

事業所名 グループホーム 「さいわいの郷」

日付 平成17年2月9日

評価機関名 有限会社
アウルメディカルサービス

評価調査員 薬剤師・介護支援専門員

痴呆介護経験8年、障害者、老人介護支援

自主評価結果を見る (まだリンク先はありません)

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

講評 全体を通して(特に良いと思われる点など)
建物の3階であるという事から、外出はどうか、機能維持の面はどうであろうかとの懸念を持ったが、建物の工夫と職員の努力でしっかり補われていた。
玄関を入ると両側にそれぞれのユニットがある。ドアを開けると、車椅子が楽に通れる広い廊下が直線になる。職員に見守れながら、手すりを持って歩く入居者の姿が見られた。また、大きなベランダには花や野菜も栽培し、明るく開放的な空間も設けられている。
母体は医療法人であり、医師の指示のもと、病院内の施設でのリハビリも機能維持に役立てられている。
食材の買い物は毎日入居者とともに出かけ、楽しみながら外出の一つになっている。
メニューは入居者の意見をよく聞いて、旬の食材を使うよう心がけている。味付けを入居者に見てもらってから仕上げるなど、入居者のプライドを大切にしている。個々の好みに応じて肉を魚に変える細かな心遣いもされている。
職員からは、「入居者に教えてもらう」という謙虚な気持ちを感じることができた。声かけ、見守りの対応はやさしい。職員間の意思疎通もよく図られていて、レベルのそろったチームケアが行われている。
安心して生活しているのだろう。入居者同士、笑顔をかわし会話を楽しんでいる姿が印象的だった。

改善の余地があると思われる点
台所の作業位置が、壁側にあるため見守りには注意が必要と感じました。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
<p>記述項目 グループホームとしてめざしているものは何か 地域の中で入居者が、心の痛みを緩和し、心を癒し、安全で安心できる豊かな生活を送れるように。 また、人生の先輩に学び、明るく楽しいわが家を築く事をめざしている。</p>			

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
<p>記述項目 入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か まずは話を聞くことから始める。帰りたいとの願望が強ければ、家族の協力を得て、外泊、外出などを行うことにより気分転換を図っている。 グループホーム内では新聞の広告を見てもらい、欲しいものを見たり、食事のとき味見をお願いしたりしている。入居者の意志の表出を支援し、楽しみを見つけようとしている。</p>			

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
<p>記述項目 一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か 食事のとき、おやつやの時間、そのほか時間を見つけては入居者との会話をしっかり行っている。昔住んでいた場所の事、仕事の事。お茶の先生だった入居者にはお茶をたてていただく。入居者が居室にいるときは、そっとしておき見守っている。</p>			

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
<p>記述項目 サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 入居者同士の声や、物音が気になりトラブルになる事もあったが、ベッドの位置を変えるなど具体的に対策を行う事でひとつずつ問題解決を図っている。 また、入居者それぞれの性格を理解し、言葉遣い、態度など対応の仕方に注意するとともに、入居者同士の関わり方もしっかりと見守っている。</p>			